

日 曜 ふくやま書道美術館常設展示室・展示室

1 月 夏の所蔵品展 I 「備後ゆかりの書家たち 一かな」

2 火

3 水 会期：2026年5月12日(火)～6月13日(土)

4 木 休館日：月曜休館 会場：常設展示室・展示室

5 金

6 土

7 日

8 月 左・桑田笹舟《紫蘭咲いて》

9 火 中央・宮本竹逕《萬代の》

10 水 右・谷邊橘南《天草の洋》

11 木

12 金

13 土

14 日

15 月

16 火

17 水

18 木

19 金

20 土

21 日

22 月

23 火

24 水

25 木

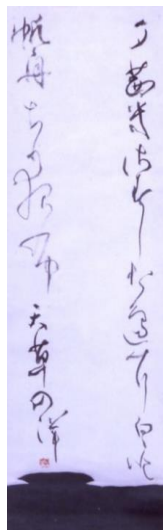
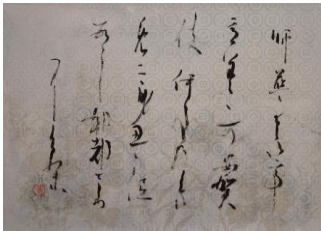
26 金

27 土

28 日

29 月

30 火



展覧会内容

ふくやまは「書のまち」といわれるように、漢字・かな・前衛の多分野の書家が活躍する、「書」が大変盛んなまちです。前所蔵品展に続き同テーマで、『かな』に焦点をあて桑田笹舟から続く、備後福山にゆかりのあるかな書家を紹介しします。

展示替えのため 休館

第73回福山市美術展覧会

会期：2026年6月17日(水)～6月28日(日) [会期中展示替えあり]

前期：6月17日(水)～6月21日(日) 後期：6月24日(水)～6月28日(日)

※月曜休館、6月23日(火)は前後期の展示替えの為休室。

第73回福山市美術展覧会に出品された書部門の内、招待作家の作品をふくやま書道美術館の常設展示室・展示室に展示いたします。

※審査員の作品は各種目の展示会場に展示します。

※【 の日】6月16日(火)、23日(火)は作品掛け替えのため休室日です。

展示替えのため 休館

クイズ!! 「備後のかな三筆」って誰でしょうか?

「備後のかな三筆」ってご存知ですか? ふくやま書道美術館で制作した、5番目の図録名が『備後のかな三筆』です。本来「三筆」とは平安時代の能書家3人の総称ですが、本図録ではその「三筆」という言葉を引用して、備後(福山)にゆかりのある、かな書家3人を「備後のかな三筆」として紹介しています。さて、その3人とは誰でしょう?? ヒントをもとにお答えください☆

- ヒント① 彼らは福山出身という共通点を持ちます!
- ヒント② 日展に「書」が加わった後は「かな書」を会場芸術として表現する、『大字かな運動』を提唱し普及・発展に貢献しました。
- ヒント③ まず一人目は名前に「笹」がつかます!彼は、古筆と料紙の探求に専念し王朝の料紙を現代に再現するなど、料紙研究家の第一人者としても有名です。
- ヒント④ 二人目は名前に「橘」がつかます!彼は、歌と書の融合をめざし、発表した多くの作品が「自詠(自分で作った歌)」です。そしてこれこそが「書」であると考え、そのスタイルを買いました。
- ヒント⑤ 三人目は名前に「竹」がつかます!彼は、草木によって染色・手漉きされた和紙にこだわり、そこに日本独自の「かな書」をどのように調和させるかについて探求しつづけました。

この問題の答えは左・夏の所蔵品展「備後ゆかりの書家たち 一かな」の展覧会情報に掲載している作品の作者たちです! ヒントをもとに答え合わせをしてみてくださいね! (*^-*) そして…展覧会にて展示中です!ぜひ実物を見にきてください☆

所蔵品展観覧料

一般	150円(120円)
高校生以下無料	

※()内は有料20名以上の団体料金

次の方は観覧料が無料です

- 社会福祉施設に入所されている方 (入館料観覧料減免申請書の提出が必要)
 - 福山市、府中市、神石高原町に住所を有する65歳以上の方 (運転免許証やマイナンバーカードなど、住所・年齢が確認できるものが必要)
 - 身体障がい者手帳、療育手帳、精神障がい者保健福祉手帳をお持ちの方、及びその介護者1名

※開館時間は午前9時30分から午後5時までです。

※月曜日【 の日】は休館日です。



〒720-0067 福山市西町二丁目4番3号
 J R 福山駅福山城口(北口)から西へ約400m Tel. 084-925-9222
 Webページ www.city.fukuyama.hiroshima.jp/site/fukuyama-syodo/
 電子メール syodo@city.fukuyama.hiroshima.jp